



令和7年度地域力創造アドバイザー会議

岡山県井原市「地域力創造アドバイザー活用による ブランディング事業の取組」

令和7年8月20日（水）



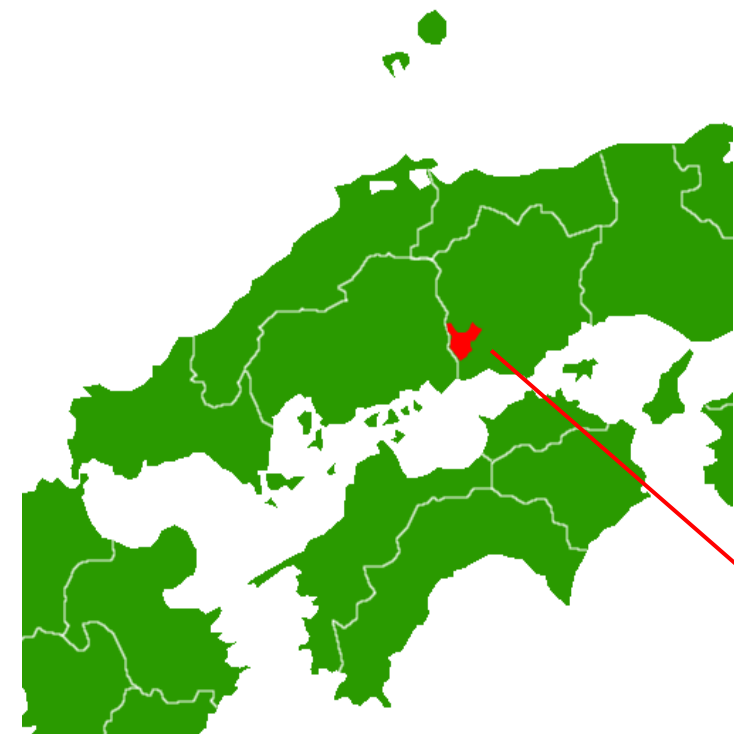


ひとづくりのまち井原

岡山県井原市、知ってますか？



井原市オリジナルSDGロゴマーク

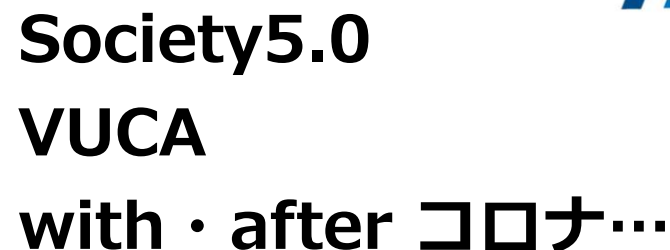


岡山県西南部に位置し、
西は広島県に接する
人口3.7万人の田舎だけど
生活にも便利な
“ちょ田舎” なまち



<https://www.mapion.co.jp/map/admi33.html>

ひとづくりのまち井原



ふるさと教育（郷土愛）
起業家教育
（アントレプレナーシップ）
ワーク＆ライフ
（ウェルビーイング）…

【非認知能力】



めざせ!! 井原“志”民

自分とふるさと井原を愛 (I) し、よりよい未来のために実行 (Do) する
自分と井原への確かな『IDentity』をもった人財

自分らしさ

自分ID

強み・弱み

夢・志

自己肯定・有用感

など



地域らしさ

井原ID

魅力・課題

郷土愛

シビックプライド

など



ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業

ふるさと井原の
「もの」「ひと」「しごと」
との出逢い

ふるさと井原（≒社会）の
「魅力」や「課題」
を体感し、見出す

「魅力拡大」や「課題解決」
に参画する
〈探究・PBL〉

井原“志”民の育成
志縁コミュニティの形成
〈夢・志・実行力〉

柱1：ひとづくりのまち「井原」の発信

〈主な取組〉

- ◆井原市ひとづくり実行委員会の開催
- ◆井原市まち&ひとづくりフェスタの開催
- ◆井原“志”民力等実態調査の実施
- ◆井原“志”民塾の開催



- ◆“夢&志”応援活動の実施 等
 - コノユビトマレ合宿
 - ふるさと井原“夢&志”アクション助成
 - ユースセンターいばら 等



柱2：社会に開かれた教育課程の実現

〈主な取組〉

- ◆ふるさと教育・起業家教育の視点を取り入れた学習活動等の推進 等
 - ワーク&ライフ職場体験
 - 非認知能力育成プログラム 等



柱3：地域社会・企業との連携

〈主な取組〉

- ◆ひとづくりネットワークの拡充
 - *コミュニティ・スクールとの一体的推進
- ◆地場産業魅力発見プログラムの実施 等
 - 井原おしごと探検ツアー
 - 井原おしごと体験フェス 等



柱4：高等学校及び大学との連携

〈主な取組〉

- ◆市内高校の魅力化支援
 - 探究学習・地域活動の支援
- ◆大学との連携促進
 - 本市を題材にした教養教育科目『地域の未来デザイン』（岡山大学）



柱5：家庭教育の支援

〈主な取組〉

- ◆子育てイベントの実施 等



柱6：読書活動の推進

〈主な取組〉

- ◆絵本読み聞かせ講座の実施 等



井原市ひとづくり実行委員会

〈産官学民一体によるひとづくり〉

ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業

ふるさと井原の
「もの」「ひと」「しごと」
との出逢い

ふるさと井原（≒社会）の
「魅力」や「課題」
を体感し、見出す

「魅力拡大」や「課題解決」
に参画する
〈探究・PBL〉

井原“志”民の育成
志縁コミュニティの形成
〈夢・志・実行力〉

柱1：ひとづくりのまち「井原」の発信

〈主な取組〉

- ◆井原市ひとづくり実行委員会の開催
- ◆井原市まち&ひとづくりフェスタの開催
- ◆井原“志”民力等実態調査の実施
- ◆井原“志”民塾の開催



◆“夢&志”応援活動の実施 等

- コノユビトマレ合宿
- ふるさと井原“夢&志”アクション助成
- ユースセンターいばら 等



柱2：社会に開かれた教育課程の実現

〈主な取組〉

- ◆ふるさと教育・起業家教育の視点を取り入れた学習活動等の推進 等
- ワーク&ライフ職場体験
- 非認知能力育成プログラム 等



柱3：地域社会・企業との連携

〈主な取組〉

- ◆ひとづくりネットワークの拡充
*コミュニティ・スクールとの一体的推進
- ◆地場産業魅力発見プログラムの実施 等
- 井原おしごと探検ツアー
- 井原おしごと体験フェス 等



柱4：高等学校及び大学との連携

〈主な取組〉

- ◆市内高校の魅力化支援
○探究学習・地域活動の支援
- ◆大学との連携促進
○本市を題材にした教養教育科目
『地域の未来デザイン』（岡山大学）



柱5：家庭教育の支援

〈主な取組〉

- ◆子育てイベントの実施 等



柱6：読書活動の推進

〈主な取組〉

- ◆絵本読み聞かせ講座の実施 等



地域力創造アドバイザー活用による ブランディング事業



◆アドバイザー紹介 矢島 里佳 氏

1988年7月24日、東京都生まれ。二児の母。

職人と伝統の魅力に惹かれ、19歳の頃から全国を回り始め、大学時代に日本の伝統文化・産業の情報発信の仕事をする。

「日本の伝統を次世代につなぎたい」という思いから、大学4年時の2011年3月、株式会社和えるを創業。

2012年3月、幼少期から職人の手仕事に触れられる環境を創出すべく、“0歳からの伝統ブランドaeru”を立ち上げ、日本全国の職人と共にオリジナル商品を生み出す。

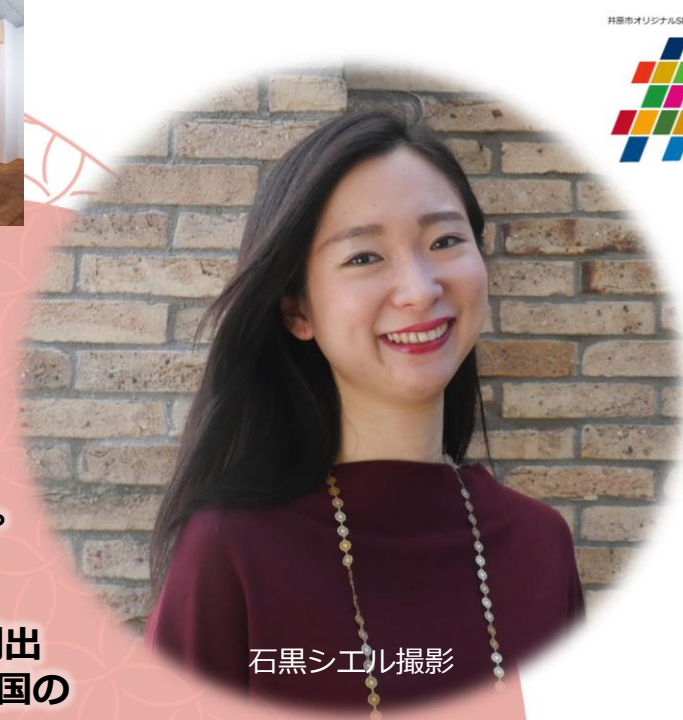
事業承継・中小企業やブランドの原点を整え、魅力化をお手伝いする「伴走型リブランディング事業」を行い、地域の大切な地場産業を次世代につなぐ仕事に従事。

自社で実践してきた、「日本の伝統を通じて、ご機嫌（ウェルビーイング）に生きると働くを実現する」講演会やワークショップも展開。

その他、日本の伝統や先人の智慧を、暮らしの中で活かしながら次世代につなぐために様々な事業を創造。

事業拠点は東京「aeru meguro」、京都「aeru gojo」、秋田「aeru satoyama」の3拠点。

「ガイアの夜明け」（テレビ東京）にて特集。



石黒シエル撮影

aeru



岡山県井原市（伴走型リブランディング支援等）

様式

地域力創造アドバイザー	矢島 里佳 氏（A424）
活用分野	リブランディングで企業・地域の本質を磨き出し、地域を活性化！（１．地域資源を活用した地域経済循環）
活用期間（頻度）	令和６年度～令和８年度（月１回程度）
キーワード	#ひとづくり #地場産業魅力発信 #リブランディング #伴走支援 #若手活躍 #若者のチャレンジ支援

【目的】 地場産業の魅力や可能性を再発見する機会の設定や、若者たちの夢や目標の実現に向けたプランやアクションを支援する体制の整備を通して、地場産業の魅力拡大や課題解決、若者たちの自己実現やキャリア形成の一助とする。

【内容】

- 企業ブランディング委員会への助言
- 地元事業所への伴走型リブランディング支援
- 若者のチャレンジに対する助言



井原おしごと探検ツアー チラシと集合写真



井原おしごと体験フェス チラシと体験の様子



【成果（見込み）】

- 地元商工会議所内に組織された企業ブランディング委員会と井原市ひとづくり実行委員会がコラボした魅力発信プログラム『井原おしごと探検ツアー』、『井原おしごと体験フェス』を開催
 - ⇒市内３社を巡る『井原おしごと探検ツアー』には14組・33名（児童19名、保護者14名）が参加
 - ⇒29事業所が39ブースを設置した『井原おしごと体験フェス』には200組・600名以上が参加
- 株式会社共和鋳造所への伴走型リブランディング支援（計８回）を実施
 - ⇒社長と若手社員4名がセッションに参加し、会社の軸となるワンメッセージを設定『鋳造とともに心豊かに生きる』
 - ⇒社員のモチベーションにつながり、会社の魅力発信に対する取組が加速
- ふるさと井原“夢&志”アクション助成」報告会の開催
 - ⇒高校生2名、大学生1名、若手社会人1名の取組に対する指導講評を行い活動のブラッシュアップを支援



リブランディング支援 現地視察の様子



若手社員が新たな発信資料を作成し、中学生との交流会にも参加



R6.07.30『井原おしごと探検ツアー』

井原商工会議所・企業ブランディング委員会とのコラボ企画として初開催

夏休み 特別企画

井原おしごと探検ツアー

井原にはステキな「おしごと」がいっぱい！
ふだん見ることのできない会社や工場を探検（見学）して、
「おしごと」のふしぎやひみつを発見しよう!!

〈探検①〉 フェニテック セミコンダクター株式会社
〈探検②〉 株式会社共和鑄造所
〈探検③〉 片山工業株式会社

◆日時 令和6年7月30日(火) 9:00~17:00
◆対象 小学4~6年生児童及び保護者
※井原市在学・在住の児童とその保護者
※保護者同伴必須(小学3年生以下の家族の参加も可)
◆定員 15組程度
◆参加費 無料
☆その他、詳細は裏面を確認ください☆

夏休みの自由研究にも活かせるよ!♥

◆趣旨

井原市の企業・事業所をバスツアーで巡って“魅力”“秘密”“自慢”“すごいところ”を見つけることで、地場産業等へ興味関心を高める。

◆参加者

小学生及び保護者 14組

(児童19名、保護者14名、計33名)

※上記以外に9名参加

- ・企業ブランディング委員会関係者5名
- ・ひとづくりコーディネーター1名
- ・事務局3名

◆受け入れ事業所

フェニテックセミコンダクター株式会社、
株式会社共和鑄造所、片山工業株式会社

※敬称略・順不同

R6.07.30『井原おしごと探検ツアー』

井原商工会議所・企業ブランディング委員会とのコラボ企画として初開催



▲事前研修



▲清水委員長挨拶



▲伊藤教育長挨拶



▲探検①フェニテック



▲探検の様子



▲説明



▲スタンプラリー



▲防じん服着用体験



▲集合写真

R6.07.30『井原おしごと探検ツアー』

井原商工会議所・企業ブランディング委員会とのコラボ企画として初開催



▲探検②共和鋳造所



▲鋳造体験



▲工場見学



▲工場見学



▲溶解炉見学



▲集合写真



▲探検③片山工業



▲スタンプラリー



▲工場見学



R6.07.30『井原おしごと探検ツアー』

井原商工会議所・企業ブランディング委員会とのコラボ企画として初開催



▲工場見学



▲クイズ大会



▲集合写真



▲事後研修会：おしごと探検隊員認定証を手にした参加者



井笠おかやま

井原市は井原商工会議所と連携し、子どもと保護者に地場企業の魅力を伝える夏休みイベントに取り組んでいる。人口減少や働き手不足が続く中、将来的なUターン就職も見据える。(西均)

半導体製造のフェニテックセミコンダクター（木之子町）、自動車部品製造の片山工業（西江原町）も見て回った。

原町も見て回った。

まちを支える人材育成
を目指して市は、201

作りや車両整備、身体動作を補うパワーアシストスーツなど、地場関連企業が体験・展示・働く車の計26ブースを設ける。うどんやたこ焼き、かき水の飲食ブースも並ぶ。申し込み不要。材料費が要るブースもある。市教委生涯学習課 ☎0866(63) 3347。

9年度から「ひとづくり事業」に取り組む。商議所は昨春、企業の魅力アップを図る「企業ブランディング委員会」を始めた。今回のイベントについて、市教委の藤井剛参事は「学んだことを新聞にまとめれば、夏休みの自由研究になる。古里就職も選択肢に入れてほしい」と狙いを説明する。

10日午前10時から、
芳井町の生涯学習センタ
ーで「おしごと体験フェ
ス」を開く。デニム製品

共和鑄造所で湯で軟らかく
なったアルミ合金を型に流
し込み、記念品を作る親子
連れ



市、親子向けイベントに力 10日に「フェス」



R6.08.10『井原おしごと体験フェス』

井原商工会議所・企業ブランディング委員会とのコラボ企画として初開催



○日 時 **令和6年8月10日(土)** ※9:45開場予定
 10:00～ 開会・説明 → 各ブースで体験
 13:00～ ビンゴゲーム → 各ブースで体験
 16:00 閉会

○会 場 **芳井生涯学習センター** ※駐車場：芳井中学校グラウンド

○入場料 **無料** ※体験によって材料費が必要な場合があります
 ※各ブースでの体験は、原則として先着順で受付【時間指定】を行います(定員が限られるものあり)
 ※体験内容は、原則として小学生向け(保護者同伴)を想定しておりますが、子どもから大人まで体験できます

★イベントの詳細は「井原おしごと体験フェスお知らせページ」
 をご覧ください ⇒ <https://forms.gle/PJSvsadwat1Psh9v9>



◆趣旨

井原市の企業・事業所の事業内容に関連したワークショップ等を体験したり、各社の“魅力”“秘密”“自慢”“すごいところ”を知ったりすることで、地場産業へ等の興味関心を高める。

◆会場

芳井生涯学習センター [全館使用可]

◆参加者

600名(200組)以上

◆参加事業所

29事業所・39ブース

※飲食ブースを含む

◆内容

- ・ホール) 開会、ビンゴ大会、各社PRタイム、閉会
- ・ブース) 各種ワークショップ体験
- ・駐車場) 「はたらくるま」展示、屋台・飲食コーナー



R6.08.10『井原おしごと体験フェス』

井原商工会議所・企業ブランディング委員会とのコラボ企画として初開催



▲開会進行：清水委員長



▲上野会頭挨拶



▲伊藤教育長挨拶



▲受付の様子



▲飲食ブースの様子



▲休憩スペースの様子



▲デニムバックづくり



▲左官体験



▲和菓子づくり体験



R6.08.10『井原おしごと体験フェス』

ひとづくりのまち井原

井原商工会議所・企業ブランディング委員会とのコラボ企画として初開催



▲子どもメカニック体験



▲鋳造体験



▲電波のひみつ体験



▲コケ玉づくり



▲井原観光マップ



▲綿繰り体験



▲高所作業車試乗



▲パッカー車積込体験



▲大型カメラ操作体験



ひとづくりのまち井原



井原市オリジナル500ロゴマーク

R6.08.10『井原おしごと体験フェス』

井原商工会議所・企業ブランディング委員会とのコラボ企画として初開催



▲高所作業車試乗



▲自衛隊制服着用体験



▲防火服着用体験



▲大型カンコーバス



▲自衛隊パジェロ



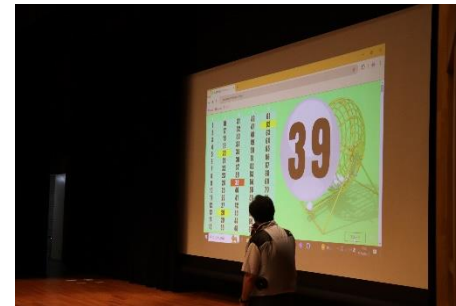
▲パトカー



▲ビンゴ大会①



▲ビンゴ大会②



▲ビンゴ大会③



R6.08.10『井原おしごと体験フェス』

井原商工会議所・企業ブランディング委員会とのコラボ企画として初開催



▲PRタイム①



▲PRタイム②



▲工具体験

井原おしごと体験フェス
スタンプラリー

（スタンプラリーの流れ）

- ①受付でカードを受け取る（1人1枚）
- ②ブースでおしごと体験をしてシールをもらう
- ③シールが5つたまったら、裏面のアンケートに回答する
- ④受付で景品と交換する ***先着200名限り**

1	2	3
4	5	

いろんなおしごとにチャレンジしてステキな景品をゲットしよう!!

井原おしごと体験フェス・アンケート

*当てはまるものに○印、()や 必要事項を記入してください

＜子ども用＞ → 学年： 園児・小学・中学・高校 ()年

Q1) フェスの満足度は？ 4 - 3 - 2 - 1
（理由）

Q2) 将来、どんなお仕事がしたいですか？
（おしごと）

Q3) 将来、井原で働きたいですか？ はい いいえ わからない
（理由）

＜大人用＞ → 学年、立場： 大学 ()年・社会人・保護者

Q1) フェスの満足度は？ 4 - 3 - 2 - 1
（理由）

Q2) フェスに参加した主な理由（動機）は？
（理由）

Q3) あなたご自身は井原で働いていますか（働く予定ですか）？
はい いいえ わからない

Q4) あなたのお子さんが井原で働くことをどう思いますか？
肯定的 否定的 わからない

Q5) 上記Q2・Q3に関する理由を含め、井原の仕事についての印象・感想・思いは？



R6.08.10『井原おしごと体験フェス』

井原商工会議所・企業ブランディング委員会とのコラボ企画として初開催

■井原で「おしごと体験フェス」

「井原おしごと体験フェス」と銘打ったイベントが10日、井原市芳井町吉井の芳井生涯学習センターで開かれ、小学生の家族連れら約600人



がワークショップを通じて地場産業の魅力に触れた＝写真。

市内25の企業、団体がステンレス製キーホルダーの研磨作業や綿花から手回しの器具で種を取る「綿繰り」など約30ブースを開設した。子どもたちは担当者のアドバイスを受けながら実践し、綿繰りに挑戦した木之子小2年三宅結理恵さん(7)は「きれいに種が取れて面白い」と笑顔だった。

フェスは地元企業を身近に感じてもらおうと、市や井原商工会議所などが初めて開いた。

ト
ピ
ッ
ク
ス

お仕事体験ツアー&フェス

2024/8/12



井原市で行われたお仕事体験ツアーに参加しました。

お仕事体験ツアーでは、以下の3社を見学させていただきました。
全然知らない会社も見学できたのでとても勉強になった。

★ フェニテックセミコンダクター



★ 共和鋳造



★ 片山工業



次へ

8/10お仕事体験フェスにも参加しました。

ブースは、25ありお仕事体験ツアーで見学した会社もあり楽しかった。

片山工業ではボードゲームで2位に入れたのが楽しかった。

他にも中島硝子はきれいにガラスを割る体験をさせてもらいました。ガラスカッターを初めて使いました。

高屋工務店でVR体験で不思議な体験でさまざまな事を14時まで楽しみました。



★ 志多木組



★

岡山県建設労働組合



★ ホーコク



★

シーピー化成

★ 共和鋳造



共和鋳造ではツアーとフェスで鋳造体験をさせてもらいました。
フェスでは器の金属の種類が違ってアルミの溶ける早さが違って面白かった。

弟が完成したアルミを触ると手が汚れるのを不思議に思い共和鋳造の人（物知りお兄さん）に理由を聞いたので、家で実験をしてみた

油粘土の油と酸素の化学反応らしい

次へ



化粧品店のルックで店員にメイクをする宇田さん

8月10日に井原市芳井町で初めて開かれた「井原おしごと体験フェス」(同市と市教育委員会、井原商工会議所が共催した、同商議所の企業ブランディング委員会が会員事業所に出版を促し、約20の事業者が集う大規模イベントに、小学校低学年を中心に

笑顔の母の加衣さんは「働いてお金をかせぐことを実感してくれただけでいいながら見守った」。

化粧品専門店のLOOKでは、児童がパウダーや口紅を選び、保護者や店員にメイクを施したピンク系のリップを店員に塗った御野小二年の宇田かなさんは「かわいくできたので」。

〇〇点満点「母の貴美子さんは、商業施設での職業体験ははじめて、内容もすっかりできて、いい経験になった」と話した。同店は「子供さんの視野が広がる

業界に興味を持つきっかけになれば」とする。

このほか飲食店やアパレルショップ、さらに館内の清掃や警備、インフォメーションに至るまで幅広い職種での体験メニューが終了後、子供たちはそれぞれの担当者にお礼のメッセージを渡した。

大きな目的は、さんすてのファンづくりだ。快く引き受けてくださったテナントさんに感謝したい。体験を機に親子で来店していただいたり、小学生が将来、消費者となつていただくことを期待している」と同施設の向川保支店長(参加のためにカード会員になったという保護者もあり、早速効果が表れているようだ)。



共和鋳造所の鋳造体験は子供たちに大人気

共和鋳造所の鋳造体験は子供たちに大人気の。主目的は企画、運営してくれており、会社としても意義深い」と飯居龍弘社長。

ごみ・排水・し尿処理の株式会社サンパース・イバラ(福井県)は、家庭用浄化槽の取水口の模型から水を取り出して汚れを確認する業務を、自作した模型で再現。市内のごみステーション四種と模型化し、楽しみながらごみ収集について学べるようにした。

造園などの株式会社松山園(下出部町)は、コケ玉作りを通じて植物と作庭の魅力を伝えた。他にVRシミュレーターを使った高所作業体験。職人が教える左官作業ミシンを使ったデモンストラ

上を回る盛況。参加事業所のエリアを広げて継続したい」と意気込む。

事業者が単独で催すものとしては、笠岡第1病院(笠岡市)が、職員の子供を対象に、2006年から続ける職場体験が先進的事例。職員のチームが毎年プランを練り、引率を定める。子供たちは診察がある平日に院内を巡り、保護者の働く姿を目の当たりにして病院の仕事への理解を深める1日(要領)。

人口が減る地方だからこそ、将来の採用と消費の入り口となる職業体験の重要性は増えているといえるようだ。



クリーンサービスイバラは自作模型で仕事の内容を説明した

特集

小中学生の職業体験といえば従来、学校側が地域の企業に依頼して行う疑似インターシップなどが中心だった。しかし近年は、行政と地元団体が共催したり、複数の事業者が合同で実施したりと多様化が進む。将来の人材確保などにつながるればと、積極的に取り組む事業者も増えている。

夏休み期間の8月には、備後圏でも多くの「仕事体験」イベントが開かれ、実社会に触れる場を子供たちに提供した。商業施設・さんすて福山(福山市三之丸町)などの事例を取り上げ、主催者側の視点から職業体験のメリットを考える。

さんすてが丸ごと会場!

【新大阪行き「さんすて」が八両編成で到着します。黄色い点字ブロックより内側には下がついてお待ちください。JR福山駅の新幹線ホームに、福山市立樹徳小四年の見浦汰知君がはきはきはした声を響かせ



JR福山駅でアナウンス業務を体験する見浦君

た。

施設屋上でのイベントなど地元との交流力を入れるさんすてが、テナント各店に呼び掛けて今年初めて企画した。特性を生かし、福山駅やさんすて内の郵便局なども含む計一四カ所での職業体験を用意。給料として五〇〇円分の買い物券も渡すことにした。

福山駅を選んだ小学生は駅員の制服と製帽を着用。実際に入線する新幹線に合わせて到着を知らせるベルを鳴らし、アナウンスや安全確認作業を行った見浦君は「ちょっと緊張したけど、楽しかった。新幹線が発着する仕組みがよく分かった」と満足そう。

将来の消費者育成にもテナントも本格的な体験を提供した。こだわりの食品をそろえる「KITANO ACE」で

多様化する「職業体験」 企業との最初の接点 ファンづくりや人材確保に

は人気商品。岩泉ヨーグルトの試供を体験。小学生は自ら試食用容器にヨーグルトを盛り付け、店頭の特設コーナーで試食を呼び掛けた。「いらっしやいませ」ヨーグルトをどうぞ。などと懸命に声を出す姿に、通行人は笑顔でヨーグルトを受け取った。

都市圏で有名な北野エースだが、中国地方には四店舗のみ。店員は「当店で商品を知ってもらえたら」と協力した子供たちの試供は追加が必要なのは人気で驚いた。津之郷小三年の谷菜太君は「試食の準備も、声を掛けるのも楽しいし、ヨーグルトを受け取ってもらえたうれしい」と



さんすて福山の「KITANO ACE」では試食販売に挑戦

岡山県井原市（伴走型リブランディング支援等）

様式

地域力創造アドバイザー	矢島 里佳 氏（A424）
活用分野	リブランディングで企業・地域の本質を磨き出し、地域を活性化！（１．地域資源を活用した地域経済循環）
活用期間（頻度）	令和６年度～令和８年度（月１回程度）
キーワード	#ひとづくり #地場産業魅力発信 #リブランディング #伴走支援 #若手活躍 #若者のチャレンジ支援

【目的】 地場産業の魅力や可能性を再発見する機会の設定や、若者たちの夢や目標の実現に向けたプランやアクションを支援する体制の整備を通して、地場産業の魅力拡大や課題解決、若者たちの自己実現やキャリア形成の一助とする。

【内容】

- 企業ブランディング委員会への助言
- 地元事業所への伴走型リブランディング支援
- 若者のチャレンジに対する助言



井原おしごと探検ツアー チラシと集合写真



井原おしごと体験フェス チラシと体験の様子



【成果（見込み）】

- 地元商工会議所内に組織された企業ブランディング委員会と井原市ひとづくり実行委員会がコラボした魅力発信プログラム『井原おしごと探検ツアー』、『井原おしごと体験フェス』を開催
 - ⇒市内３社を巡る『井原おしごと探検ツアー』には14組・33名（児童19名、保護者14名）が参加
 - ⇒29事業所が39ブースを設置した『井原おしごと体験フェス』には200組・600名以上が参加
- 株式会社共和鋳造所への伴走型リブランディング支援（計８回）を実施
 - ⇒社長と若手社員4名がセッションに参加し、会社の軸となるワンメッセージを設定『鋳造とともに心豊かに生きる』
 - ⇒社員のモチベーションにつながり、会社の魅力発信に対する取組が加速
- ふるさと井原“夢&志”アクション助成」報告会の開催
 - ⇒高校生2名、大学生1名、若手社会人1名の取組に対する指導講評を行い活動のブラッシュアップを支援



リブランディング支援 現地視察の様子



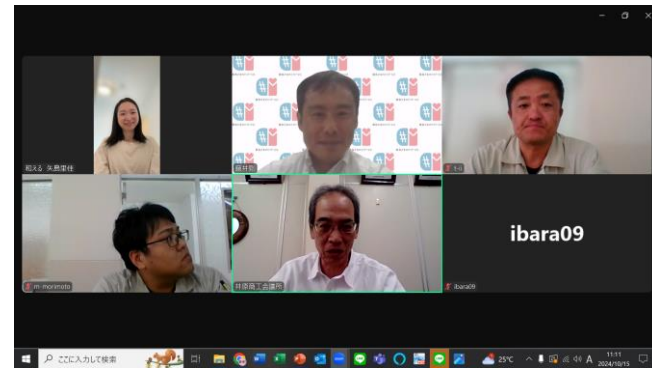
若手社員が新たな発信資料を作成し、中学生との交流会にも参加

『地元事業所への伴走型リブランディング支援』

株式会社共和鋳造所の社長および若手社員とのセッション（計8回）を実施

⇒社長と若手社員4名がセッションに参加し、
会社の軸となるワンメッセージを設定
『鋳造とともに心豊かに生きる』

⇒社員のモチベーションアップにつながり、
会社の魅力発信に対する取組が加速



Pickup! 社員を紹介します!

森本光裕 さん

仕事内容: 鋳造・検査など
趣味: ショッピング・ドライブ
性格: なんでも振れないタイプ

鋳造についてのQ&A

聞きたい事があれば何でも聞いてね!!

Q 鋳造って何?

A 鋳造とは、金型を溶かして型に流し込み、冷やして固める加工方法です。鋳造で作った鋳造品を鋳物といいます。共和鋳造では、アルミを溶かして表面に流し込み、冷やして固める鋳造品を製造しています。

Q アルミ鋳物でできている身近なものって?

A 自動車や農機具のエンジン部品や自動車部品にもアルミ鋳物が使われています。

16:45 退社
（お疲れ様です）

EMPLOYEE INTERVIEW
「社員インタビュー」

共和鋳造所には井原市出身の方が多く勤務しています!

土屋 毅亮 さん

【入社理由】
父の会社で働いてたので、父の会社で働くのが夢でした。父の会社で働くのが夢でした。父の会社で働くのが夢でした。

妹尾 朱梨 さん

【入社理由】
父の会社で働いてたので、父の会社で働くのが夢でした。父の会社で働くのが夢でした。父の会社で働くのが夢でした。

POINT 1 共和鋳造所には様々な鋳造方法がある!?

1 ダイカスト
【金型内部の圧力の強い】
・ 金型内部の圧力の強い
【充満速度】
・ 高圧・高速度での冷却時間が短く、鋳造サイクルが短い

2 低圧鋳造
【金型内部の圧力の強い】
・ 金型内部の圧力の強い
【充満速度】
・ 低圧・低速での冷却時間が長く、鋳造サイクルが長い

3 グラビティ鋳造
【金型内部の圧力の強い】
・ 金型内部の圧力の強い
【充満速度】
・ 低圧・低速での冷却時間が長く、鋳造サイクルが長い

POINT 2 素材に関わる事は大体何でもできる!!

砂で出来たシェルや中子と呼ばれる金型や、金型内で使用している鋳造用合金を鋳造所で製作しており、素材に関わる事は大体何でも出来ます。3.工法を取り扱っている事と金型・シェル・中子を内装している事が共和鋳造所の特色でこのようにオールマイティです。

POINT 3 社員のアイデアでキャンプ用品を開発!!

キャンプで使えるアルベグとアルカガを世で開発しました。アルベグで出来たアルベグは、キャンプの必需品でもあり、キャンプでも簡単にベグを打つ事が出来る商品です。Amazonや楽天とネットで取り扱っています。

企業情報

共和鋳造所はアルミニウム合金鋳造の専門メーカーです。主に自動車および農業機械用アルミ合金鋳造品を製造しています。金型製作から鋳造まで一貫して自社で出来る事が共和鋳造所の最大の強みです。

株式会社 共和鋳造所
〒715-0006 岡山県井原市西江原町5418-3
☎ 0866-63-1211 ☎ 0866-63-1216

岡山県井原市（伴走型リブランディング支援等）

様式

地域力創造アドバイザー	矢島 里佳 氏（A424）
活用分野	リブランディングで企業・地域の本質を磨き出し、地域を活性化！（１．地域資源を活用した地域経済循環）
活用期間（頻度）	令和６年度～令和８年度（月１回程度）
キーワード	#ひとづくり #地場産業魅力発信 #リブランディング #伴走支援 #若手活躍 #若者のチャレンジ支援

【目的】 地場産業の魅力や可能性を再発見する機会の設定や、若者たちの夢や目標の実現に向けたプランやアクションを支援する体制の整備を通して、地場産業の魅力拡大や課題解決、若者たちの自己実現やキャリア形成の一助とする。

【内容】

- 企業ブランディング委員会への助言
- 地元事業所への伴走型リブランディング支援
- 若者のチャレンジに対する助言



井原おしごと探検ツアー チラシと集合写真



井原おしごと体験フェス チラシと体験の様子



【成果（見込み）】

- 地元商工会議所内に組織された企業ブランディング委員会と井原市ひとづくり実行委員会がコラボした魅力発信プログラム『井原おしごと探検ツアー』、『井原おしごと体験フェス』を開催
 - ⇒市内３社を巡る『井原おしごと探検ツアー』には14組・33名（児童19名、保護者14名）が参加
 - ⇒29事業所が39ブースを設置した『井原おしごと体験フェス』には200組・600名以上が参加
- 株式会社共和鋳造所への伴走型リブランディング支援（計８回）を実施
 - ⇒社長と若手社員4名がセッションに参加し、会社の軸となるワンメッセージを設定『鋳造とともに心豊かに生きる』
 - ⇒社員のモチベーションにつながり、会社の魅力発信に対する取組が加速
- ふるさと井原“夢&志”アクション助成」報告会の開催
 - ⇒高校生2名、大学生1名、若手社会人1名の取組に対する指導講評を行い活動のブラッシュアップを支援



リブランディング支援 現地視察の様子



若手社員が新たな発信資料を作成し、中学生との交流会にも参加

『「夢&志”アクション助成”」報告会の開催』

若者を中心とした“夢&志”応援活動の支援（助言）

ひとづくりのまち井原

—2025—
ふるさと井原

“夢&志”アクション助成

ゆめここ

あなたの《やりたい!》
応援しま〜す!!

★チャレンジの始め方
★アクションの進め方
★申請書類等の書き方
…などなど、不安なことや
気になることがあれば、
気軽に相談してください♡

対象 中学生・高校生・大学生・若手社会人（20代）
※井原市在住・在学・在勤・団体所属で、主体的に活動を企画・実践しようとする個人・団体（グループ）
※学校経由の申込みは不可

助成額 原則として1組（1申請）あたり最大10万円
※2025（R7）年度は10組（10申請）程度の助成を想定

応募 各月20日までに応募必要書類・データを提出
※所定の様式にて提出
※2025（R7）年度の最終申請締切=2026（R8）.1.20

審査 書類審査
※応募のあった各月末日（12月は26日）までに審査の後、応募受理の翌月10日までに結果を通知

イベント企画・運営

商品開発・販売

パフォーマンス

研修会・交流会

1組（1申請）
最大
10万円
!!

◀ 応募方法、応募様式等の詳細はコチラから
Webサイト「ひとづくりのまち井原」
<https://hitotsuburi-no-machi-ibara.jp>

主催 井原市ひとづくり実行委員会
企画 “夢&志”づくり応援Laboratory「ゆめここ☆ラボ@井原」
【事務局：井原市教育委員会生涯学習課 担当：藤井】
井原市七日市町12-1（アクティブライフ井原内）
問合せ 電話：0866-63-3347 FAX：0866-63-3348
・申請先 E-mail：tsuyoshi_fujii@edu.city.ibara.okayama.jp

井原市 若者へ一問一答!!

① 活動のねらいは？ ② 実際の活動はどうだった？ ③ 次の一步は？

高校生 イノベーションハーパー
得意を活かせる学生の居場所づくり
井原市立高等学校3年生 仁城 ひなたさん

① 自身の不登校経験を活かしつつ、当事者目線で、学生の居場所づくりや活動できる場づくりをすること。新しい繋がりを作り、広げていくこと。
② 居場所カフェは、ご飯を作ったり音楽について話したりして、学年や学校を超えた交流の場になった。クリスマスマーケットも開催できた。
③ 居場所にいる人たちの声から、どこにも聞ける”リアル”に触れ、私たちだけでなく、社会全体で取り組んでいくべき課題も見えた。こどもたちと地域を繋ぎ、WIKI-NEWSになれる関係作りをサポートしていきたい。

居場所カフェのたこやきパーティーの様子
長村にグミを入れた人が大混雑！

こども店長たち
後援決定や会場作りまで全部自力です

大学生 渋沢栄一ゆかりの地を巡り、井原市の魅力を知ろう！
山陽学園大学・山陽学園短期大学1年 三宅 茉莉さん

① 井原市を盛り上げるため最近話題の「渋沢栄一」を活用することで多くのの方々に興味関心を持ってもらい井原市の魅力を知ってもらうこと。
② 観光プランに20人の方々に参加していただき、昨年度も観光プランを行ったため観光プランに参加したことがない人に声をかけ参加者を集めた。
③ 地域の方には井原市と渋沢栄一の関わりを徐々にアピールすることができているため、地域の方々に留まらず市外の方への魅力をアピールしていきたい。

渋沢栄一が岡田屋敷に滞在した「岡田屋敷」の
跡地の前で集合写真を撮影

井原市立図書館で
渋沢栄一の展示会に参加

高校生 デニム学 美星天文台×ウェザーニューズLive
（株式会社ウェザーニューズ）プロジェクト
岡山県立井原高等学校1年 井上 貴子さん

① 美しい星空を様々な人に見てもらうためにウェザーニューズLiveと組み合わせた企画を行い、美星町の知名度向上を目標とする。
② 美星天文台や天文王国おみやげ事務局に提案・協力を依頼し、体制を整え、県内にリリース。そして、ウェザーニューズ社に企画の提案を行った。
③ ウェザーニューズ社に提案を行ったところ、予算等の関係で実行が難しくなった。今度はウェザーニューズLiveだけでなく、テレビ等で美星町の星空を発信し、ウェザーニューズ社にも興味を持ってもらえるように活動したい。

岡山県高校生「夢」PBLフォーラム
集合写真

岡山県高校生「夢」PBLフォーラムで
発表している様子

大人 めざせ「BMXのまち・井原」！
キックバイクで、若もライダー体験会
株式会社ファストリビール 飯丸 幸子さん

① 子どもを対象としたBMX・キックバイクの体験会を開催し、自転車競技に対する興味関心を高める。BMXのまちとして地域活性化の一助となること。
② 参加者を募集したところ定員の2倍以上の申込みをいただいた。コースを使った短距離コースであったが、初級も小学生を楽しくそうに体験していただき、本体験会後に実際の練習場に試走しにきてくれた家族もいた。
③ 今回は定員の関係で体験できない子どもが多く出てしまったので、たくさん子どもたちに体験してもらえよう工夫をしたい。

3歳の女の子も楽しそうに
バランスが取れるように！

大志市長も来てくださった。
自然したレースを繰り広げていただきました！

※掲載されている内容はすべてお伝えいただいた情報であり、都合とは異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。



ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業

ふるさと井原の
「もの」「ひと」「しごと」
との出逢い

ふるさと井原（≒社会）の
「魅力」や「課題」
を体感し、見出す

「魅力拡大」や「課題解決」
に参画する
〈探究・PBL〉

井原“志”民の育成
志縁コミュニティの形成
〈夢・志・実行力〉

柱1：ひとづくりのまち「井原」の発信

〈主な取組〉

- ◆井原市ひとづくり実行委員会の開催
- ◆井原市まち&ひとづくりフェスタの開催
- ◆井原“志”民力等実態調査の実施
- ◆井原“志”民塾の開催



◆“夢&志”応援活動の実施 等

- コノユビトマレ合宿
- ふるさと井原“夢&志”アクション助成
- ユースセンターいばら 等



柱2：社会に開かれた教育課程の実現

〈主な取組〉

- ◆ふるさと教育・起業家教育の視点を取り入れた学習活動等の推進 等
- ワーク&ライフ職場体験
- 非認知能力育成プログラム 等



柱3：地域社会・企業との連携

〈主な取組〉

- ◆ひとづくりネットワークの拡充
*コミュニティ・スクールとの一体的推進
- ◆地場産業魅力発見プログラムの実施 等
- 井原おしごと探検ツアー
- 井原おしごと体験フェス 等



柱4：高等学校及び大学との連携

〈主な取組〉

- ◆市内高校の魅力化支援
○探究学習・地域活動の支援
- ◆大学との連携促進
○本市を題材にした教養教育科目
『地域の未来デザイン』（岡山大学）



柱5：家庭教育の支援

〈主な取組〉

- ◆子育てイベントの実施 等



柱6：読書活動の推進

〈主な取組〉

- ◆絵本読み聞かせ講座の実施 等



地域力創造アドバイザー活用による ブランディング事業



ふるさと共創の未来を創るひとづくり事業

「地方創生2.0基本構想」(概要)

令和7年6月13日
閣議決定

【地方創生をめぐる現状認識】

1.人口・東京一極集中の状況	2.地域経済の状況
3.地方創生をめぐる社会情勢の変化	4.これまでの地方創生10年の成果と反省
○厳しさ ・地方の人手不足の一層の進行 ・若者や女性の地方離れ など	○成果 ・人口減少問題への対処開始、地方移住への関心の高まり など
○追い風 ・インバウンドの増加 ・リモートワークの普及 ・AI・デジタルなどの急速な進化・発展 など	○反省 ・人口減少を受け止めた上での対応、若者や女性の流出要因へのリーチ、国と地方の役割の検討(人手不足と東京への集中)、地域のステークホルダーが一体となった取組の不足 など

【地方創生2.0の起動】

1. 目指す姿 =「強い」経済と「豊かな」生活環境の基盤に支えられる多様性の好循環が「新しい日本・楽しい日本」を創る

①「強い」経済	②「豊かな」生活環境	③「新しい日本・楽しい日本」
・ 自立的で持続的に成長する「稼げる」経済の創出により、新たな人を呼び込み、強い地方経済を創出	・ 生きがいを持って働き、安心して暮らし続けられる生活環境を構築し、地方に新たな魅力と活力を創出	・ 若者や女性にも選ばれる地方、誰もが安心して暮らし続けられ、一人一人が幸せを実感できる地方を創出

目指す姿を定量的に提示	就業者1人当たり年間付加価値労働生産性を東京圏と同水準に など3つの目標	地域の買物環境の維持・向上を図る市町村の割合を10割に など5つの目標	魅力的な環境整備により、地方への若者の流れを2倍に など3つの目標
	関係人口を実人数1,000万人、延べ人数1億人創出	AIやデジタルを活用し、地域課題の解決を図る市町村の割合を10割に など3つの目標	

ブランディング事業

ふるさと共創の未来を創るひとづくり事業

3. 政策の5本柱

(1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

- ・日本中いかなる場所も、若者や女性が安心して働き、暮らせる地域とする。
- ・人口減少下でも、地域コミュニティや日常生活に不可欠なサービスを維持するための拠点づくりや、意欲と能力のある「民」の力を活かし人を惹きつける質の高いまちづくりを行うとともに、災害から地方を守るための防災力の強化を図る。

(2) 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生～地方イノベーション創生構想～

- ・多様な食、農林水産物や文化芸術等の地域のポテンシャルを最大限に活かし、多様な「新結合」で付加価値を生み出す「地方イノベーション創生構想」を推進する。
- ・構想の実現に向けて、異なる分野の施策、人材、技術の「新結合」を図る取組を重点的に推進する。

(3) 人や企業の地方分散～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～

- ・過度な東京一極集中の課題（地方は過疎、東京は過密）に対応した人や企業の地方分散を図る。
- ・政府関係機関の地方移転に取り組むとともに、関係人口を活かして都市と地方の人材交流を進め、地方への新たな人の流れを創出する。

(4) 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用

- ・GX・DXを活用した産業構造に向け、ワット・ビット連携などによる新時代のインフラ整備を面的に展開していく。
- ・AI・デジタルなどの新技術を活用し、ドローン配送などにより地方における社会課題の解決等を図り、誰もが豊かに暮らせる社会を実現する。

(5) 広域リージョン連携

- ・都道府県域や市町村域を超えて、地方公共団体と企業や大学、研究機関などの多様な主体が広域的に連携し、地域経済の成長につながる施策を面的に展開する。

ふるさと井原の未来を創るひとづくり事業

(1)安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

○地域に愛着を持ち、地域で活躍する人材の育成

【全自治体での郷土学習の実施に向け2026年度中に結論】

- ・「子供が地域を愛し地域が子供を支える」体制の構築に向け、学習指導要領を改訂し郷土学習を充実する。また、改訂を待たずに先取りで郷土学習の先進事例を普及・加速する。
- ・専門高校を拠点とした地方創生を進めるため、産業界と連携した地域人材の育成の取組（寮機能などの交流拠点の整備を含む）、産業界等からの人材派遣などの伴走支援による専門高校の機能強化・高度化に取り組む。

○誰も取り残さない支援体制を整備し、全世代・包摂的な地域共生社会の実現

【制度的対応について2025年度中に結論】

大人が変われば 子どもが変わる

子どもが変われば 未来が変わる

○「交通空白」の解消等に向けた地域交通のり・デザインの全面展開

【「交通空白」地点（約2,000地区及び交通結節点約460地点）の解消に目途】

- ・「交通空白」解消に向けた取組方針2025に基づき、集約期間（2025年度～2027年度）で、公共・日本版ライドシェア

専門的知識をもった伴走者・支援者・助言者…

≡ 地域力創造アドバイザーの活用

☆専門性を活かせる「人選」「場づくり」「サポート」

ブランディング事業